

## 離任のご挨拶

時が経つのは早いもので、私が初代の本任日本大使としてエストニアに着任してから2年と7ヶ月が経ちました。そして、このたび、帰朝の命を受け、10月はじめにエストニアを後にすることとなりました。

私の任期中、エストニアはOECD加盟とユーロ導入をはたし、リーマンショック後の世界的な厳しい経済状況の中でも高い経済成長率を達成し、着実に発展していることを目の当たりにしました。

日本との関係においても、京都プロトコルによるCO2排出権取引に基づく電気自動車を活用したプロジェクト等の発足による経済関係の進展や、アンシブ首相およびエルグマ国会議長の訪日、伴野外務副大臣（当時）のエストニア訪問等の要人往来もありました。大使館としても、2011年の日・エストニア新たな外交関係開設20周年記念イベントをはじめとした様々な文化イベントや、日本に関するセミナー・レクチャー等を数多く実施し、皆様のご協力のおかげもあり、日本とエストニアの間の経済的・文化的なつながりを目に見える形で強化できたと考えております。日本からの観光客も年々増え、また、日本企業のエストニアへの関心も次第に高まってきており、大関把瑠都関の活躍とも相俟って、日本におけるエストニアの認知度が高まっていることを感じます。昨年3月の東日本大震災にあたり、エストニアの官民から大きな支援を頂いたことは決して忘れません。

エストニアを去るに当たっては、まだまだやり残したことがたくさんあるとの思いが強いですが、今後の日・エストニア関係をあらゆる面で強化するための基礎固めは一応出来たのではないかと考えております。

10月中に後任の大使が着任いたしますので、私に与えてくださった皆様のご支援を引き続き後任の大使にも与えて頂き、日本・エストニア関係の更なる発展にご協力頂けますようお願いするとともに、エストニアのさらなる飛躍を祈願して、退任の挨拶といたします。

2012年9月

在エストニア日本国特命全権大使

星 秀明